

吉備国際大学大学院 心理学研究科 博士（前期）課程

入学試験問題

試験科目：心理学概論	試験時間：60 分	配点：100 点
------------	-----------	----------

問題 1 次の文章を読み、空欄に入る最も適切な人物や用語を記入せよ。

- (1) バンデューラ (Bandura, A.) が提唱した、人が行動や成果を求められるとき、自分自身が行動・成果を出せるという実感を（ ）という。
- (2) 個人が課題遂行の際に他者が存在することにより課題の遂行成績が高まる現象を（ ）という。
- (3) 中枢神経系の各部位が様々な領域に細分類され、それぞれ異なる働きを担っていることを（ ）という。
- (4) 固定化された物事の枠組みを変えて、新しい枠組みでみることを（ ）という。
- (5) 心理検査における作業検査法を 1 つ記載しなさい。
- (6) エインズワース (Ainsworth, M.) らが考案した、乳児を見知らぬ部屋で見知らぬ人と同室に置き去りにしてストレスを与え、その後、親と再会する時の反応を観察し、乳児と親の愛着の個人差を測定する実験的な観察法を（ ）という。
- (7) ビッグファイブモデルにおいて 5 因子とは外向性、調和性、誠実性、開放性、（ ）である。
- (8) ピアジェ (Piaget, T.) の認知機能の発達理論において 6～12 歳頃の自分の視点とは異なる視点から物事を考えることができる脱中心化がみられる段階を（ ）という。
- (9) 身調べをもとに日本独自の内観療法を開発した人物は（ ）である。
- (10) 支援者自らが積極的に地域に出向いてサービスを提供したり、利用可能なサービスに関する情報を提供することを（ ）という。
- (11) 内発的動機がある人に外的報酬のような外部からの刺激を与えると、やる気を低下させたり、目的を変えてしまうことを（ ）効果という。
- (12) ヴィゴツキー (Vygotsky, L.) は、子どもが独力で達成できない水準であっても、大人が手伝うことで達成できる水準を（ ）と提唱した。

- (13) リーダーシップの機能を P 機能（目標達成機能）と M 機能（集団維持機能）から捉える PM 理論を提唱した人物は（ ）である。
- (14) 左上側頭回周辺の損傷により、一度獲得した言語理解機能が障害される病型を（ ）失語という。
- (15) 質的データ（名義・順序尺度）の 2 群間を持つ特徴の割合が同じかどうかを分析する際に用いられる統計方法は（ ）である。

問題 2 臨床心理学の研究法における質的研究と量的研究について説明しなさい。

問題 3 心理療法におけるインテーク面接について説明しなさい。また、インテーク面接においてカウンセラーが注意する点について説明しなさい。

吉備国際大学大学院心理学研究科
博士（前期）課程 心理学専攻

2026 年度 入学試験問題

試験科目：英語	試験時間：60 分	配点：100 点
---------	-----------	----------

問1. (A) ～ (D) の英文をそれぞれ和訳しなさい。また、各文の説明内容に当てはまる用語を下記のア～コの記号から選択し、その記号と用語の和訳を解答欄に記入しなさい。

(A) The contingency (relationship) between a response and a reinforcer. The contingency may be positive (if the occurrence of the reinforcer is more probable after the response) or negative (if it is less probable after the response). Reinforcement contingencies can be arranged by establishing dependencies between a particular type of response and a reinforcer (as when a rat's lever presses are followed by presentation of food), or they can occur as natural consequences of a response (as when a door opens when pushed) or by accident.

(B) The degree of a relationship (usually linear) between two variables.

(C) An index describing the consistency of scores across contexts (e.g., different times, items, or raters). Its value, ranging from 0 to 1, provides an estimate of the amount of obtained score variance that is due to true variance rather than to error. The larger this coefficient, the more confident a researcher may be that scores obtained at different times under similar conditions with the same participants will be alike. Typically, reliability coefficients are considered to be acceptable if they are above .80.

(D) An area of defended space around an individual. Personal space differs from other types of defended space (e.g., territory) by being a surrounding “bubble” that moves with the individual. It may have been used by various species throughout evolutionary history to protect the individual organism against intraspecies aggression and threats to personal autonomy. Because human use of personal space varies among cultures, it is a learned behavior, at least in part.

- ア psychological reactance
- イ personal space
- ウ ego
- エ multiple regression analysis
- オ developmental psychology
- カ primacy effect
- キ reinforcement contingency
- ク dissociative disorder
- ケ reliability coefficient
- コ correlation

問 2. 下記の英文をそれぞれ和訳しなさい。

(1) projection

In psychoanalytic and psychodynamic theories, the process by which one attributes one's own individual positive or negative characteristics, affects, and impulses to another person or group. This is often a defense mechanism in which unpleasant or unacceptable impulses, stressors, ideas, affects, or responsibilities are attributed to others. For example, the defense mechanism of projection enables a person conflicted over expressing anger to change "I hate him" to "He hates me." Such defensive patterns are often used to justify prejudice or evade responsibility; in more severe cases, they may develop into paranoid delusions in which, for example, an individual who blames others for his or her problems may come to believe that those others are plotting against him or her. In classical psychoanalytic theory, projection permits the individual to avoid seeing his or her own faults, but modern usage has largely abandoned the requirement that the projected trait remain unknown in the self. In linear algebra and exploratory factor analysis, the mapping of a set of points in multidimensional space. —project vb.

(2) intelligence test

An individually administered test used to determine a person's level of intelligence by measuring his or her ability to solve problems, form concepts, reason, acquire detail, and perform other intellectual tasks. It comprises mental, verbal, and performance tasks of graded difficulty that have been standardized by use on a representative sample of the population. Examples of intelligence tests include the Stanford–Binet Intelligence Scale and the Wechsler Adult Intelligence Scale. Also called intelligence scale.

吉備国際大学大学院心理学研究科

博士(前期)課程

2026 年度 入学試験問題

試験科目：心理学概論	試験時間：60 分	配点：100 点
------------	-----------	----------

1. 以下の(1)～(5)までの各説明について、正しいものには○、誤っているものには×を解答欄に記入せよ。また、×をつけた問題には、誤っている箇所について指摘し、正しい答えを記述せよ。

- (1) 睡眠不足が食欲に与える影響を調べるため、通常の睡眠をとる参加者の群と睡眠中に何度か起こされる群とで比較実験を行う場合、後者を統制群と呼ぶ。
- (2) ローゼンタールらの実験で、教師が生徒に対し肯定的な期待をかけると、実際に生徒の成績が上がる現象をハロー効果と呼ぶ。
- (3) 生後2～3ヶ月頃の赤ちゃんが、人の顔や声、外部からの刺激に反応して起こる微笑みを生理的微笑と呼ぶ。
- (4) 4～5歳頃の幼児が共通の目的に向けて一緒に協力し、調整や役割分担などをしながら遊んでいる状態を平行遊びと呼ぶ。
- (5) 心身の成長や意欲向上につながる「良いストレス」と、心身の健康を損なう「悪いストレス」があるが、前者をディストレスと呼ぶ。

2. 以下の質問について最も適切な答えを述べなさい。

- (1) 質問紙尺度の信頼性を確認するため、同じ対象者に同じ尺度を、期間を空けて2回実施し、同様の結果が得られるかを確認する検査法を何と呼ぶか。
- (2) 臨床の実践において、カウンセラーが専門家としての役割と別の役割を、クライアントとの間に持ち続けることは禁止されているが、そのような関係を何と呼ぶか。
- (3) クライアント本人に直接会ったり、話を聴いたりすることなく、心理テストの結果のみで性格などを分析することを何と呼ぶか。
- (4) 福祉・医療・心理・教育などの分野において、支援が必要であるにもかかわらず自発的に支援を求めない、あるいは求められない人々に対して、支援者側から積極的に働きかけ、必要なサービスや援助を提供する取り組みを何と呼ぶか。
- (5) 脳波の研究において、光や音、あるいは自発的な運動といった特定の事象に関連して一過性に生じる脳波を何と呼ぶか。

3. 以下の内容について、200 字前後で簡潔に述べなさい。

(1) 尺度水準について述べなさい。

(2) 心理学におけるアセスメントとは何か、またアセスメントの 3 つの方法について述べなさい。

【問 1】 次の英文中の下線部を和訳しなさい。

Humanistic approach is a theory and assistance method based on humanistic psychology proposed by Maslow, A.H. and others in the 1960s, including client-centered therapy, Gestalt therapy, focusing, and motivational interviewing methods. Among them, Rogers, C.'s client-centered therapy is famous. Rogers criticized psychoanalysis and behavioral therapy, which had been mainstream until then, as technique-centered or expert-centered, and appealed for the need for client-centered psychotherapy. In humanistic psychology, theoretical hypotheses are based on a positive understanding that each person has the potential to grow and self-actualize. In client-centered therapy, it was pointed out that the therapist's attitude ("unconditional positive respect", "empathic understanding", "self-agreement") that respects people's potential and independent ability and promotes the client's tendency to self-actualize is important. The attitude of the therapist shown by Rogers is widely used as the basic attitude of the clinical psychology approach in Japan.

（ 和訳 ）

【問 2】 以下の英文①～④は、それぞれ心理学の専門用語について説明したものであるが、下記の専門用語群の中から該当する用語名を()内に記入しなさい。

- ① A relatively enduring and evaluation of an object, person, group, issue, or concept on a scale ranging from negative to positive. They provide summary evaluations of target objects and are often assumed to be derived from specific beliefs, emotions, and past behaviors associated with those objects. ※用語名 ()
- ② A consequence or reaction in which the expectations of a leader or superior lead to behavior on the part of followers or subordinates that is consistent with these expectations: a form of self-fulfilling prophecy or expectancy effect. ※用語名 ()
- ③ The degree to which a test or measurement accurately measures or reflects what it purports to measure. In psychometrics, it is the extent to which a test measures what it purports to measures, or the extent to which specified inferences from the test's scores are justified or meaningful. ※用語名 ()
- ④ This term is a cognitive state in which a child in the pre-operational stage of development comprehends the world only from its own point of view and is unaware that other people's points of view differ from its own. ※用語名 ()

専門用語群

self-esteem	social attitude	primacy effect	psychoanalysis	validity
cognitive effect	animism	reliability	egocentrism	pygmalion effect

吉備国際大学大学院 心理学研究科 博士（前期）課程

2026 年度 入学試験問題（2 月 8 日実施）

試験科目：心理学概論	試験時間：60 分	配点：100 点
------------	-----------	----------

I. 次の文章を読み、最も適切な用語や名称を記入せよ。

- (1) 精神分析的心理療法において、転移・逆転移の両方の展開により、過去のクライアントと重要な他者との関係性が実際に再演されること
- (2) ジェンドリンが創始した内面の未分化な部分やそこにある感覚に注意を向ける心理療法
- (3) 不適切な情動反応を引き起こす刺激に危険を伴うことなく持続的に直面し、その情動反応を消去する技法
- (4) 適切な行動に代用貨幣を与え、一定数たまると好きな品物や活動と交換できる支援技法
- (5) 家族療法において、家族のなかに溶け込み、家族のありのままを観察し体験することを通して、問題や関係性、葛藤や不安を理解する技法
- (6) 「開かれた対話」を繰り返すことを通して、精神症状を緩和し、クライアントの社会参加を促進するアプローチ
- (7) 「川」から始まる 10 種類のアイテムを教示された順に描いていく描画法
- (8) 連続加算法を用いた代表的な作業検査
- (9) 踏切の点滅のように、物理的・空間的に離れた 2 つの視対象を順に提示することで、時間的に先の刺激から後に刺激が移動したように見える現象
- (10) 主に青年期において、人生に関するいくつかの選択肢について迷い、迷いを克服しようと努力したり、決定を延期している状態
- (11) 感覚情報（色）と言語情報（文字意味）を同時に目にした時、情報が干渉しあう現象
- (12) 児童生徒が課題に潜んでいる法則や概念について見つけることができるという考え方から、ブルーナーが提唱した学習方法
- (13) クロンバックが命名した、同じ学習指導を実践しても、学習者により学習に対する理解度や効果が異なる現象
- (14) 心身症のクライアントに特有な病前性格としてシフネオスによって提唱された、身体症状や事実関係は述べるが自らの内的状態や感情を表現できない状態
- (15) 2 つの刺激が同時または継時的に呈示された時に、2 値の刺激の差異を感覚的に検出できる

最小の値

Ⅱ. 次の文章を読み、空欄に入る最も適切な人名や用語を記入せよ。

- ・児童虐待には、身体的虐待、性的虐待、(1)、(2) の4種類がある。
- ・自己効力感の主な情報源となるのは、(3)、代理的経験、(4)、情動的喚起である。
- ・(5)により提唱された、集団における機能の観点からリーダーシップを類型化したPM理論において、成果を上げることもでき集団をまとめ上げる力もあるのは(6)型である。
- ・コフートが提唱した自己対象転移には、(7)転移、(8)転移、(9)転移といった種類がある。
- ・質問紙等の信頼性を検証する手法のうち、同一集団に同一のテストを2度実施し相関係数を算出する方法は(10)法、質問項目の考えられるすべての組み合わせについて信頼性係数を算出し平均を算出するのは(11)に基づく検証である。
- ・認知症の診断には、(12)式簡易知能評価スケール、(13)検査(MMSE)がよく使用される。
- ・精神保健福祉法において、本人の同意を必要とせず、精神保健指定医2名の一致により自傷他害の恐れがあるとされた精神障害者の入院は(14)入院で、精神障害があり緊急に入院治療をおこなう必要があると判断された場合、本人や家族等などの同意が得られない状態でも72時間以内に限り入院ができるのが(15)入院である。

Ⅲ. 以下について、それぞれ100～150字程度で簡潔に説明せよ

- (1) 動機づけ面接のスピリットと技法
- (2) 少年法における「非行少年」
- (3) 自閉スペクトラム症の特徴
- (4) 心理学統計におけるノンパラメトリック検定

【問 1】(1)～(8)の英文を日本語に訳し、それぞれの言葉に最も関連のある人物を枠内から選べ。

(1) The interpretation of dreams is the royal road to a knowledge of the unconscious activities of the mind.

(2) Behavior is shaped and maintained by consequences.

(3) I do my thing and you do your thing. I am not in this world to live up to your expectations. And you are not in this world to live up to mine. You are you, and I am I, and if by chance we find each other, it's beautiful. If not, it can't be helped.

(4) True empathy is always free of any evaluative or diagnostic quality.

(5) You use hypnosis not as a cure but as a means of establishing a favorable climate in which to learn.

(6) If self-efficacy is lacking, people tend to behave ineffectually, even though they know what to do.

(7) In all cultures, the family imprints its members with selfhood. Human experience of identity has two elements; a sense of belonging and a sense of being separate.

(8) Problem talk creates problems. Solution talk creates solutions.

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| • Frederick Perls | • Albert Bandura |
| • Salvador Minuchin | • Sigmund Freud |
| • Carl Jung | • Steve de Shazer |
| • Milton Erickson | • Burrhus Fredrick Skinner |
| • Carl Rogers | • Aaron Beck |

【問 2】 以下の英文を日本語に訳せ。

Traditional CBT has been strongly influenced by the medical model of diagnosis and treatment. The structure of problem-solving — first determining the nature of the problem and then intervening — influences the content of the interaction between therapists and clients: they focus on pathology and on what is wrong with the client.

Traditional therapists tend to be preoccupied with client problems, limitations, and deficiencies. Client assessments are often negative and mention few or no client strengths and abilities.

It is, however, not this negative way of thinking but the clients' strengths, abilities, and resources that are most important in helping to bring about change. The mission of the helping professions is to empower clients to live more productive and satisfying lives and to flourish. Empowering clients indicates the intention to, and the process of, assisting individuals, groups, families, and communities to discover and expend the resources and tools within and around them.

吉備国際大学 大学院 心理学研究科・心理学専攻
博士（前期）課程（公認心理師コース・心理学コース）

入学試験問題

試験科目：心理学概論	試験時間：60 分	配点：100 点
------------	-----------	----------

1. 心理学の研究法について、（ ）に当てはまる語句を答えなさい。

- ・従属変数になんらかの影響を及ぼすことが想定されるが、操作していない（することができない）変数を（ ① ）という。
- ・（ ② ）とは、順序効果を統制する方法の1つで、独立変数の呈示順序を統制する方法である。
- ・（ ③ ）とは、調査対象者を母集団から無作為に抽出する方法のことである。
- ・一定の時間間隔を観察単位として行動の生起を記録する方法を（ ④ ）という。
- ・質問項目が用意されているが、ある程度面接者の自由度が保たれている面接を（ ⑤ ）という。

2. 次の文章が示している心理学統計法に関する用語を答えなさい。

- ①平均値からのズレの程度
- ②帰無仮説を棄却し、対立仮説を採択する誤り
- ③差の等価性に加え、絶対的な原点 0 を有する尺度水準
- ④2 つ以上の要因の相乗効果
- ⑤複数の説明変数が基準変数をどの程度説明することができるかについて検証する統計手法

3. 次の文章は代表的な精神疾患・発達障がいの特徴を説明している。それぞれの説明に該当する疾患名を答えなさい。

- ①ある特定の学業的スキル（書くこと、計算すること、読むことなど）の障がいの特徴とする疾患
- ②社会的コミュニケーションの障害と限局された反復的な行動が発達早期から現れ、社会・学業・職業活動に支障をきたす疾患
- ③強迫観念や強迫行為のために、日常生活に支障をきたす疾患
- ④情報をまとめて処理することが難しくなるため、幻覚や妄想、意欲の低下や感情の平板化などの症状が生じる疾患
- ⑤気分の落ち込みと興味や喜びの喪失を示し、その程度が著しく、持続期間も長いため、社会生活に支障をきたす疾患

4. 次の文章が示している防衛機制を答えなさい。

- ①満たされない欲求を閉め出すために、目や口を閉じるかのようになかったことにする防衛
- ②自我にとって不都合な欲求や葛藤を閉じ込めて感じないようにする防衛
- ③本来の欲望を別のより適応的なもので発散したり、満たそうとするもの
- ④本当に望むこととは別のことをする防衛
- ⑤より早期の発達段階に戻ることによって、不安や葛藤から自分を守る防衛

5. 次の文章が説明している臨床心理学的な技法・アプローチ法，心理検査を答えなさい。

- ①精神分析療法の基本的な技法で，頭に思い浮かんだことをそのまま言葉にしていく方法
- ②不適応反応が喚起される刺激にそのまま曝す方法
- ③標的行動をスモールステップに分け，段階的に形成していく方法
- ④「今この瞬間」の体験に意図的に意識を向け，評価せずに「ありのまま」を受け入れる心理療法
- ⑤一定のリズムに従って目を左右に動かすことによって，トラウマに関する記憶を処理することを目指す技法
- ⑥ボンディとフロストによって開発された絵カードを用いて自発的なコミュニケーション力を育む方法
- ⑦ハサウェイとマッキンリーによって作成された 550 項目から構成されるパーソナリティ検査
- ⑧マレーによって開発された人物などが描かれた図版を見せて物語をつくってもらう検査
- ⑨フォルスタインらによって精神疾患からせん妄と認知症を鑑別する目的で開発された簡易的認知機能検査
- ⑩カウフマン夫妻によって開発された児童用知能検査

6. 以下の 2 題について説明しなさい。

- ①心理尺度における信頼性と妥当性
- ②三大流派（精神分析学・行動主義心理学・人間性心理学）の相違点

吉備国際大学 大学院 心理学研究科 心理学専攻

博士(前期)課程Ⅳ期 2026 年度 入試問題

試験科目：英語	試験時間：60分	配点：100点
---------	----------	---------

このページには問題はありません

このページには問題はありません